



R I. 第2620地区 静岡第1グループ  
三島西ロータリークラブ

# 週報

第2170号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F  
TEL(055)976-6351 FAX976-6352  
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹  
TEL(055)975-3210  
会長 佐野 宏三 幹事 前田 博利



広重版画より 三島 朝霧

## 第2237回例会

2019.2.28雨

### 司会

柴崎恵子君

### ロータリーソング

「日も風も星も」  
指揮 花房孝光君

### 会長挨拶

副会長 原 久一君

皆さんこんにちは、本日の例会は2月の最後の日となります。  
この時期になりますと杉花粉が飛び交いはじめ花粉症が猛威を振るいはじめます。花粉症を患いますと食事の味覚を失い食がすすまないようです。外出後は手洗い、うがい、衣服に着いた花粉除去等を行うようにしてください。杉花粉の原因となる杉の植林は、昭和30年代の高度成長期に林道を切り開き崩落防止、木材の需要を見込み日本列島の2倍以上縦横4千キロメートル以上の距離に森林と山林を活かす道となりました。大規模林道は当時の補助金は過疎地という理由で工事費が嵩み通常より高い補助率で補助されていました。国が80%、道、県が15%、地元負担は5%の補助でありました。それ故に各市町村や森林組合では、受益者負担の少ない理由で懸命に誘致をされてきたようです。「大規模林道事業」は、林業を中心とし山村の生活や農業・畜産などの産業、森林レクリエーションの展開等も睨んだ長期的で総合的な地域開発計画でありました。これからは森林税の導入も始まり「海から山を見る。安全で安心のできる治山事業」を願い期待をいたします。

さて、いよいよ佐野年度も最終章が近づいてまいりました。本日第1回目の次年度理事役員会を開催させていただきました。  
3月5日 第1グループ第1回次期会長幹事会 伊東市内  
3月24日 2620地区「PETS」浜松市内で開催  
現在、次年度の計画を策定しているところでもあります。皆様のご指導ご鞭撻をよろしくごお願い申し上げご挨拶とさせていただきます。

### 出席報告

	出席総数	出席率	メンバー	修正出席率
前々回	29/40	72.50%	31/40	77.50%
今回	35/44	79.55%	会員総数	47名

欠席者 赤池君、秋元君、芦川君、窪田君、千葉君、橋本君、藤江君、森崎君、矢野君

※14日の欠席者に誤りがありました。

14日の欠席者

芦川君、加藤君、鈴木(正)君、千葉君、橋本君、前田(邦)君、和田君



### 幹事報告

幹事 前田博利君

- ①本日、八木真樹さんの入会式を行います。宜しくお願い致します。
- ②3月7日(3月第1回目例会)は例会場が米山記念館です。間違いがないよう集合お願い致します。
- ③3月14日(3月第2回目例会)は夜間例会です。例会内容が変更になりまして、台湾派遣中学生壮行会です。
- ④3月28日(3月第3回目例会)卓話 川名正洋君
- ⑤訃報  
甲府ロータリークラブ会員(第2620地区バスタガバナー、第33代会長) 上原勇七 殿(85歳)、1月31日ご逝去。  
平成31年3月5日(火) 13:00~15:00  
甲府富士屋ホテル 昇仙閣

2018~2019年度  
国際ロータリー会長  
バリー・ラシン

インスピレーションになろう

## おめでとう

会員誕生日	西本君
入会記念日	諏訪部(照)君
奥様誕生日	鈴木(正)君、遠藤(真)君、 木村君
結婚記念日	室伏君、田熊君、矢岸君、 松本君

## スマイルボックス

- ◆前田(邦)君、この度、平成31年2月1日付で転勤となりました。皆様にはしっかりとご挨拶できず誠に申し訳ございません。1年9か月と短い間でしたが大変お世話になりました。後任は、八木と申しますが引き続きお世話になります。宜しく願い致します。
- ◆鈴木(正)君、2月17日に会社創立60周年記念式典をみしまプラザで行いました。室伏さんお世話になりました。ウエストサイズも演奏してもらい非常に好評でした。
- ◆宇田川君、卓話です。お付き合い願います。

## 卓話

### な～んだ、そうだったのか!

宇田川茂君

— 言葉の語源を探して —

- \*「お茶の子さいさい」のお茶の子とは?  
農家の朝は早い。朝食前にひと仕事もふた仕事もするが、さすがに腹がへる。そこで、軽く茶菓子を食べて出掛ける。茶菓子といっても簡単なもので、雑穀で作った煎餅や餅などだ。これを「お茶の子」という。食事と違って手間がかからないので、たやすくできる例えになった。それにはやし言葉の「さいさい」をつけて「お茶の子さいさい」となった。「朝飯まえ」と同じ。
- \*常識はずれを「無茶」というが、茶の無いのがなぜ常識はずれか?  
昔から日本人の習慣としてお客が来たらお茶を出して接待するのが常識となっている。だから、用件に気をとられ、うっかりお茶を出すのを忘れて、「お茶も出さない!」とその非常識を責められた。そこから常識はずれを「無茶」といった。
- \*「お茶を濁す」  
いいかげんなその場しのぎで、ごまかしたりして取り繕うこと。濁すとは? 茶道の作法をよく知らない者が程よく茶を濁らせて、それらしい抹茶に見えるよう取り繕うことから生まれたことば。
- \*太ってまるい相撲取りを「あんこ力士」というが、「あんこ」とは? ぽっちゃり体型の相撲取りをあんこ力士という。あんぱんを連想

させるので、あんこは「あん(餡)」のことだと思いがちですが、実は深海魚の「アンコウ」のことです。お腹がふくれてぶよぶよした手触りが、丸々太ってお腹が出た体型の力士に似ていることからこのように呼ばれた。このアンコウの肉は美味で高級な食材でもある。反対に細身で筋肉力士のことは「ソップ型」という。これはオランダ語で「スープ」のことであり、ダシを取った後の鶏がらに例えてこう呼ぶ。

\*相撲部屋において、日常的に食されている鍋で「ちゃんこ番」の力士が作る手料理で鍋料理全般を「ちゃんこ鍋」という。その語源は諸説ありますが、一番シンプルが親方を父になぞられて「チャン」、弟子を「コ」として、親方と弟子が食事する説が有力です。

\*「たらふく食べる」のたらは魚の鱈ですがどうして鱈?  
この鱈は実は、ものすごく大食いの魚である。鱈のお腹を開けると100種類以上もの魚・エビ・カニ・イカが出てくるとも珍しくないという。鱈の体長は1メートル以上あり、その3分の2ほど餌を飲み込んでいる。だから「たらふく」だ。なぜそんなに食べるのかというと、鱈は深海にいる魚で、深海は餌の魚介類があまり無いので、チャンスとなればとにかく食べて食べて食いまくるのです。

\*年齢や体のサイズをごまかすことを「さばを読む」というが、なぜ鯖か?

健康にいいと云われる青魚の代表ですが、なぜあの鯖が数をごまかす例えに使われるようになったのか? 鯖は大量にとれるが鮮度の低下も早い。魚市場で数えるとき、早口で数えながらボンボン箱に投げ込んだ。実際の数と合わないことからいい加減な数を数えることを「さばを読む」というようになった。「読む」というのは、選挙の「票を読む」と同じで数えること。

\*「下手の横好き」

自分の好きな遊びや、趣味などで、技術的にはあまり上手くない、下手ではあるが、やたらとそのことを好むという意味で、自分の趣味や遊びを謙遜する言葉ですが、なぜ、「横好き」なのか? 横には道理に合わない、見当はずれという意味があります。つまり一般的な道理(上手ければ好きになる)とは外れていること。

\*アサヒビールのキャッチコピーに「コクがあるのにキレがある」  
なんとなく解りそうでわからない文句ですが、「コク」とは漢字で書くと「極(極み)」です。意味的には「うまい」に近いのだが、ただうまいだけでなく、いわく言い難いもので、誰でもが納得できる味の極上ということ。「キレ」とは後味がどれほど尾を引くか、後味の「スッキリ感」のこと。

\*酒をチャンボンとか、長崎ちゃんぽんの「チャンボン」とは?  
いろんなものをごちゃ混ぜにすること、性質の違うものを混合するという意味ですが、もとをたどるとチャンは鉦(かね)、ボンは鼓(つづみ)の音だった。鉦は祭りの囃子などで、チャンチャカ打ち鳴らし、鼓は能の囃子方がボンと打つ。昔、祭りは大衆的なもの、能は上流階級が楽しむものとされ、その二つを一緒に打ち鳴らすのは型破りであった。酒をチャンボンで飲むのは型破りで、悪酔いする。長崎ちゃんぽんは具がごちゃ混ぜで麺類の食べ方としては型破りなわけです。

\*めちやくちゃになることを「台無し」と言うが、なぜ「台無し」?  
この台は仏像を置く台座のことである。仏像の威厳は蓮華座・雲座・須弥座などの台座によって保られている。だから台座の無い仏像は面目まるつぶれ、威厳も神聖さもない。めちやくちゃだ。だからめちやくちゃを「台無し」と言った。

\*別れ際の挨拶は「さよなら」ですが、漢字で書くと「左様なら」「然様なら」と書きます。もともとは武士の言葉で訪問先を辞するとき、「左様ならばおいとま申す」と言っていた。その後、後半が省略されて「さよなら」だけが残った。

(週報担当:木村安紀夫)